

経営比較分析表（令和5年度決算）

岡山県備前市 吉永病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	20	-	ド 透	救 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
31,411	5,550	第2種該当	-	10：1

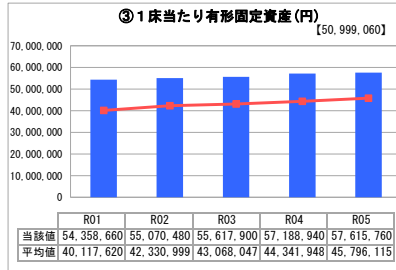
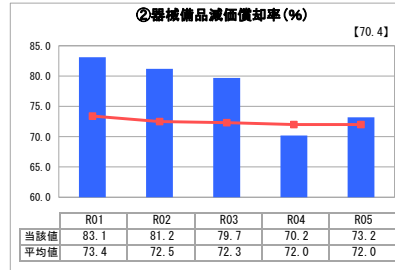
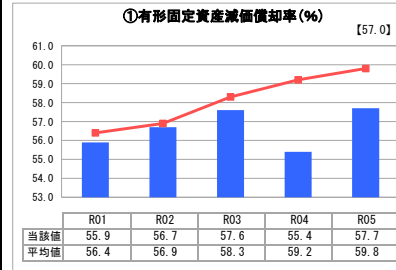
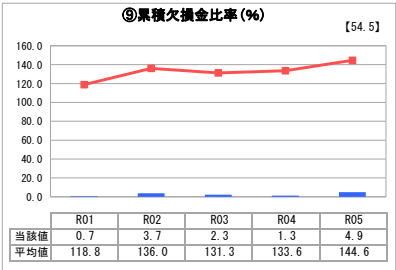
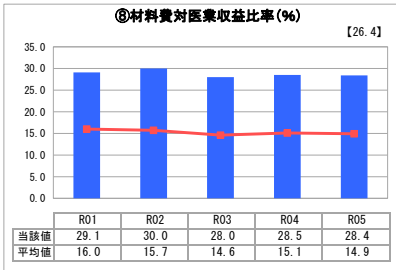
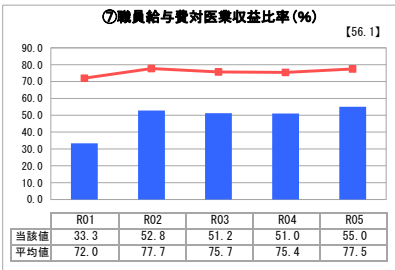
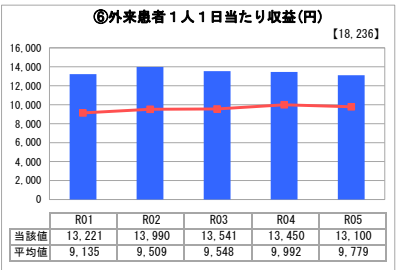
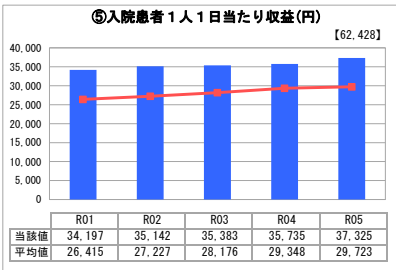
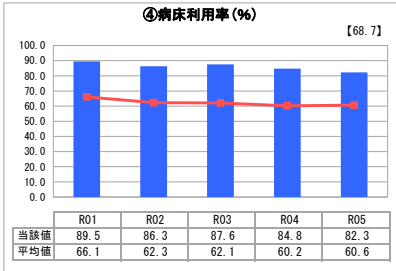
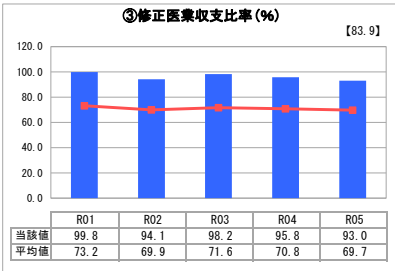
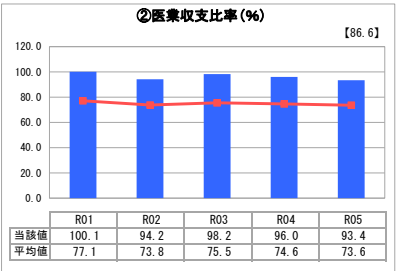
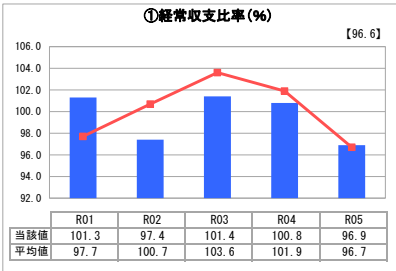
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
50	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	50
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
50	-	50

グラフ凡例		
■	当該病院値（当該値）	
-	類似病院平均値（平均値）	
【	令和5年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

業務強化・連携強化 （関係の官公・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

診療圏は、備前市吉永地域、三石地区、伊里地区と隣接する和気町と考えられますが、岡山市や上郡町など市外・県外の方にも利用されている。
半径4km以内に民間診療所が1か所しかないという立地条件のため、土曜日診療や夜間受付窓口を19時まで開けるなどして地域医療を担っている。
また、年間250件を超える手術を行い、急性期から回復期の病床機能を提供するとともに、救急医療、へき地医療、小児医療、人工透析医療、在宅医療、各種健診事業、保健衛生活動、学校医、産業医、介護施設の協力医など幅広い事業を提供している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①②③④⑤⑥⑦の各指標は類似病院平均値と比べると健全な状態であるが、外来収益などの収益は減少傾向で、給与費などの費用は増加傾向となっており非常に厳しい状況である。
⑧材料費対医業収益比率は、類似病院平均値を下回っているが、当院は院内薬局での運用をしており、類似病院平均値は、院外薬局で運用している病院も含めた数値であることから、特に問題はないと考える。
⑨累積欠損金比率は、施設の建替により発生した欠損金であるが、現状の経営状況では早期での解消は難しい状況である。
今後は少子高齢化がさらに進むと見込まれ、将来的に限られた医療資源を効果的に活用するため、地域の医療ニーズに応じて柔軟に病床を機能分化するなど、地域に密着した病院を目指したい。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、令和4年度の電子カルテの更新と施設が比較的新しいこともあり、類似病院平均値より低くなっている。
②器械備品減価償却率は、定期的な保守を実施し適切に使用できる状態を保持することで、法定耐用年数での更新を行っていないため、類似病院平均値より若干高くなっている。
③1床当たり有形固定資産は、50床という小規模病院としては診療費が20科と多く、医療機器も充実していることが、類似病院平均値より高い要因であると考えられる。

全体総括

今後予想される人口減少などの問題に備え、ホームページの充実など広報活動にも注力し、選ばれる病院を目指す。市民の安心につながる救急医療についても24時間体制での受入を継続する。
また、地域包括ケアの観点からは、状況に応じて機能分化等を検討したい。また、総合保健施設を併設し、通所リハビリテーション事業、訪問リハビリテーション事業などの介護保険事業の維持に加え、地域における地域包括ケアシステムの中核として、地域内の他の診療施設や、周辺地域の急性期病院等と連携しながら地域完結型の医療を目指したい。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和5年度決算）

岡山県備前市 備前病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	14	-	ド 透	救 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
31,411	7,566	第2種該当	-	10：1

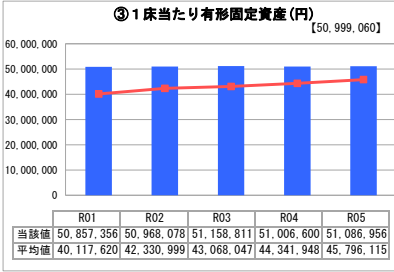
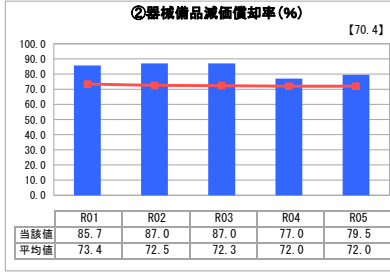
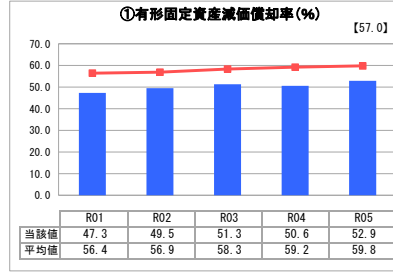
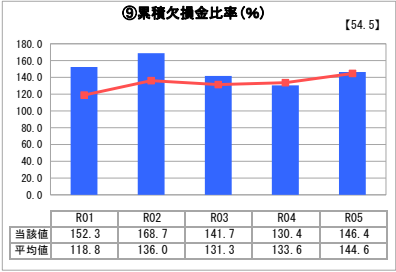
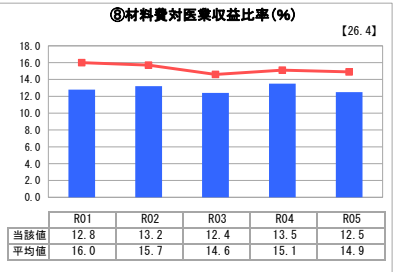
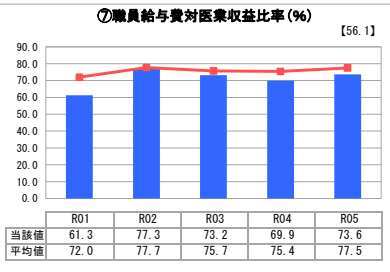
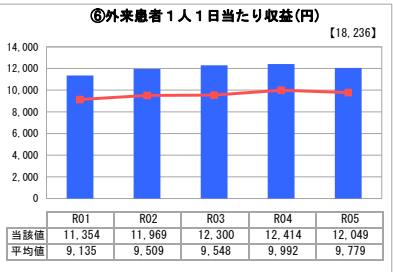
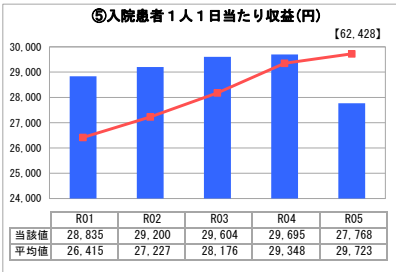
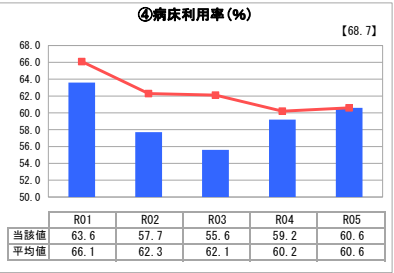
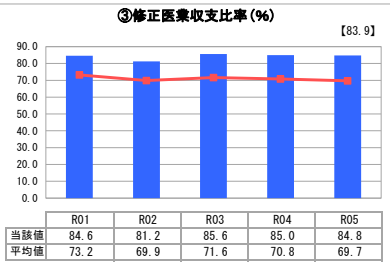
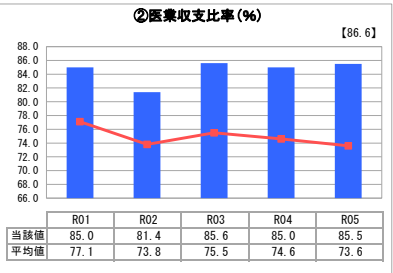
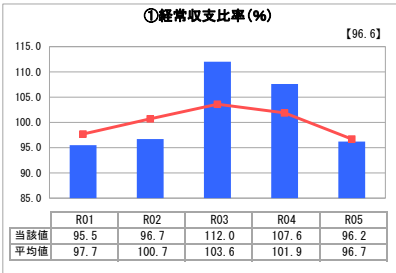
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
46	44	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	90
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
39	37	76

グラフ凡例		
■	当該病院値（当該値）	
-	類似病院平均値（平均値）	
【	令和5年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

業務効率化・業務強化 (業務の可視化・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

自治体病院として、行政、医療機関、介護施設と連携し、地域に必要な医療を公平・公正に提供するとともに、国保直診の目指す地域包括ケアの観点から、回復期を担う地域包括ケア病床、慢性期を担う療養病床の設置、リハビリテーションの充実、人工透析医療（16床）や各種健診事業のほか、介護保険事業として、介護老人保健施設（80床）、通所リハビリテーション事業（定員30人）、居宅介護支援事業、訪問看護ステーション事業も展開している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

②医業収支比率、③修正医業収支比率ともに類似病院平均値を上回っている。コロナ以降も大きな減少になっていないため、今後も地域ニーズを把握しながら現状を維持していきたい。①経常収支比率の大幅な減少については新型コロナウイルス関連の補助金等の影響が大きい。
④病床利用率も類似病院並みに回復したが、⑤入院患者一人当たりの収益が減少している。これは地域のニーズとして回復期より慢性期の患者が増えていることが要因と考えられる。
⑥累積欠損金比率が上昇しているため職員数削減などによる経費の圧縮や加算の見直しによる収益の増収方法などを検討していきたい。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、平成23年度の病院建て替えから年数を経るにつれ、徐々に高くなっている状況であるが、全国、類似平均とともに下回っている。
②器械備品減価償却率は、全国平均より上回っており、医療機器類の老朽化が進行している。そのため、定期的な保守と修繕を実施することで、適切な状態を維持していく。併せて今後は更新時期を迎えるものも多い。特に電子カルテや放射線機器など高額な医療機器については、使用頻度や費用対効果、運用方法などを検討し計画的に行っていく。
③1床当たり有形固定資産は、全国、類似平均とも上回っているが、これは、併設の老人保健施設の償却資産が含まれているためであり、病院単体では両平均値を下回っている。

全体総括

コロナ後の影響として補助金の大幅な減少により経常収支比率は落ちこんだものの、医業収支比率や病床利用率など医療活動については大きな減少とならなかった。しかし施設の老朽化や様々な経費が高騰しているため今後は今まで以上に経費削減と収益の増収を実施していく必要がある。特に入院患者一人あたりの収益については大幅に落ち込んでいるため、再度病院の状況をチェックし請求できる加算項目を増やしていく。また病床利用率も全国平均とは差があるため、地域が必要とする病床機能や病床数を検討し利用率を上げていきたい。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和5年度決算）

岡山県備前市 日生病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	ド訓	救輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
31,411	6,545	第2種該当	-	10：1

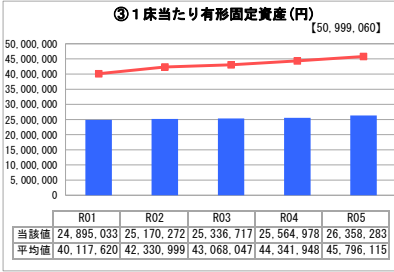
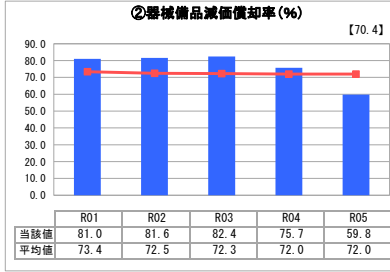
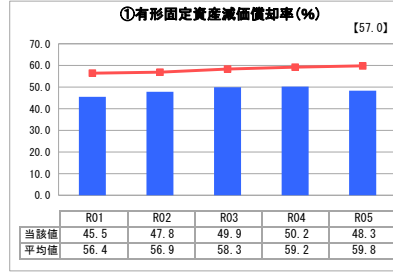
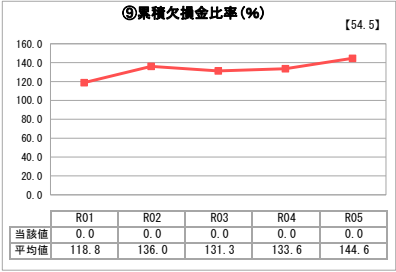
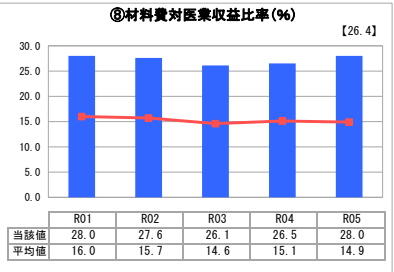
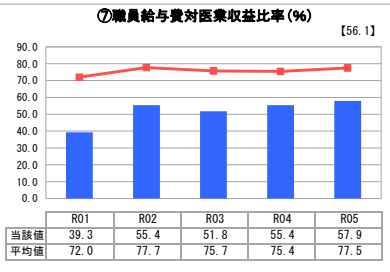
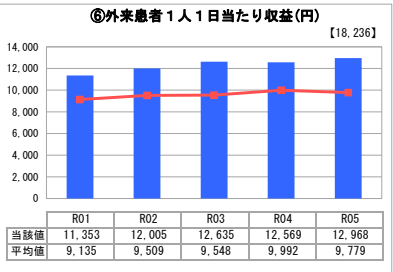
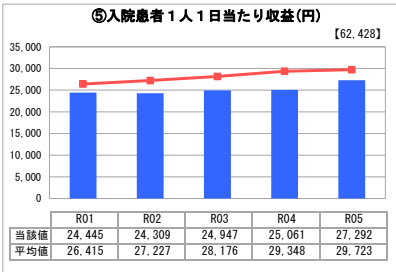
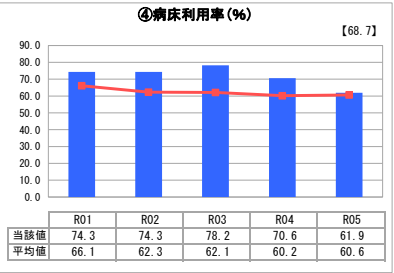
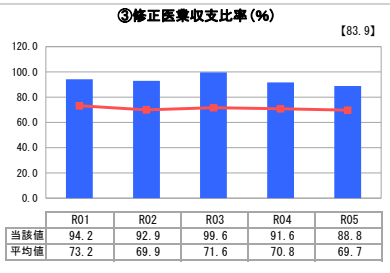
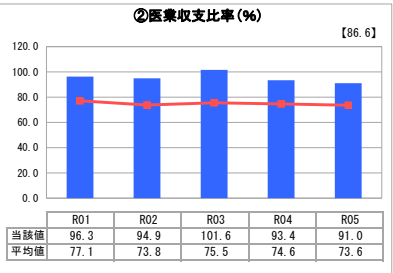
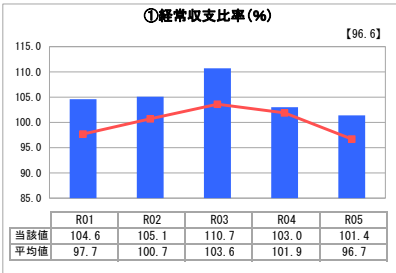
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
40	52	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	92
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
31	43	74

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

情報分庁・連携強化 （従来の可観・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

当院は、救急告示施設、病院群輪番制等二次救急医療機関として救急医療を提供するとともに、入院機能を持つ医療機関として、急性期から慢性期の幅広い病床機能を提供する役割を担っている。人間ドックや特定健診等を積極的に受け入れることで地域における予防医療の推進に務めている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

②③④の指標についてそれぞれ前年の数値を下回っているが、②、③の指標は類似病院平均値及び全国平均を、④の指標は類似病院平均値を上回っていること、かつ①経常収支比率が100%を上回っていることから、健全な経営状態であると考えられる。⑧材料費対医業収益比率は、類似病院平均値より高い状況にあるが、これは当院が院内薬局となっていることから、薬品等に係る費用が大きいために要因と考えられる。今後の人口動向、高齢化率及び病床利用率等を注視し、適正な病床数及び病床機能を検討するとともに、慢性期を担う療養病床やリハビリテーションの充実を図り、患者のニーズに応える病院として、その機能を充実させることにより、効率的な病院経営に努めたい。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似病院平均値より低い。これは、平成18年度の病院建設から年数がさほど経過していないことが要因と考えられる。②器械備品減価償却率は、電子カルテ等の更新により類似病院平均値を下回る結果となった。建設から10年以上が経過し、随所に老朽化等による修繕の必要が生じているため、今後は、予測される大規模修繕等に備える必要がある。

全体総括

患者の病状的確に把握し、より専門的な治療が必要な場合は最適な医療機関に繋ぎ、容体が安定した後は当院での治療を継続していくといった「地域を担う病院としての役割」を常に心がけ、「かかりつけ病院」としての役割を果たすことで、これからも地域住民に信頼され、必要とされる病院であり続けるよう努めていく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。